国　語

科　目　名	単　位　数	学　　科	学　　年
古典探究	２単位	普通科（Ⅰ型）	２年

教 科 書	高等学校　標準古典探究 (第一学習社)	副 教 材	新総合　図説国語（東京書籍）

科目の目標	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成する。

	学　習　項　目	学 習 の ね ら い
１学期	十訓抄　「文字一つの返し」 古今著聞集　「小式部内侍が大江山の歌の事」 徒然草　「奥山に、猫またといふものありて」 故事・寓話　「画竜点睛」「朝三暮四」 漢詩の鑑賞　「絶句」「峨眉山月歌」「除夜寄弟妹」	・文章の種類や古典特有の表現に注意し、構成や展開、内容を的確に捉える。 ・助動詞や句形など、文法に関する知識を増やす。
２学期	伊勢物語　「初冠」「小野の雪」 沙石集　「児の知恵」 枕草子　「木の花は」 三国志の世界　「赤壁之戦」 不思議な世界　「織女」	・和歌が果たしている役割を押さえながら、心情を読み味わう。 ・書き手の考えや目的を捉えて内容を解釈し、構成や表現を評価する。
３学期	竹取物語　「火鼠の皮衣」「かぐや姫の昇天」 不思議な世界　「売鬼」 万葉集・古今和歌集	・古典の作品や文章に表れる表現の特色について理解を深める。 ・古典作品と現代の作品のつながりを味わう。
備考（学習のポイント）	１　多様なジャンルの文章を読み、書き手の意図や情景、心情の描写を考え、表現を味わおう。 ２　ものの見方や考え方を深め、言葉をとおして他者とつながる意識を養おう。 ３　話し合い活動をとおして伝え合う力を高め、自分の言葉で自分を表現できるようにしよう。 ４　語句の意味や用法について知識を習得し、自分の表現に役立てよう。	

評価規準	知識・技能	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めている。
	思考・判断・表現	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。
	主体的に学習に取り組む態度	言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、古典に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深めようとしている。

定　期　考　査	１学期中間	１学期末	２学期中間	２学期末	学年末
実　施　予　定	○	○	○	○	○

評　価　方　法	学習への取組をⅠ【知識・技能】、Ⅱ【思考力・判断力・表現力等】、Ⅲ【主体的に学習に取り組む態度】の三観点で評価をする。評価の対象と観点は以下の通り。 ○　定期考査　…　Ⅰ・Ⅱ　の観点 ○　ノート内容　…　Ⅱ・Ⅲ　の観点 ○　授業成果物（レポート、感想文、提出物等）　…　Ⅱ・Ⅲ　の観点 ○　授業態度（真面目な態度、積極的な取組）　…　Ⅲ　の観点

国　語

科　目　名	単　位　数	学　　科	学　　年
文学国語	２単位	普通科（Ⅰ・Ⅱ型）	２年

教 科 書	高等学校　文学国語 （第一学習社）	副 教 材	新総合　図説国語（東京書籍）

科目の目標	⑴　生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに，我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。 ⑵　深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに，創造的に考える力を養い，他者との関わりの中で伝え合う力を高め，自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 ⑶　言葉がもつ価値への認識を深めるとともに，生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ，我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め，言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	学　習　項　目	学 習 の ね ら い
１学期	近代の小説Ⅰ「山月記」 近代の詩　　「永訣の朝」 創作Ⅰ　　詩の創作と鑑賞	多角的な視点から文章を読解し、作品の多様な価値を捉える力を養う。
２学期	近代の詩　　「小諸なる古城のほとり」・「風船乗りの夢」 近代の小説Ⅱ「こころ」 創作Ⅱ　　小説の創作と鑑賞	多角的な視点から読解される内容を、作品や作者の背景をふまえて解釈する力を養う。
３学期	近代の随想　「花のいざない」 近代の小説Ⅲ「檸檬」 戦争と文学　「わたしが一番きれいだったとき」	多角的な視点から作品の価値を見出し、読解した内容を批評する中で自分の解釈を確立する力を養う。
備考（学習のポイント）	１　復習を必ず行うこと。板書を見ながら今日の授業を頭の中で再現すること。 ２　国語の学習において、要約と説明は鍵である。文章の要点を説明し、また本文を要約して、学習内容の定着を図ること。 ３　知らないことは考えられない。積極的に読書し、自分の知見を広げること。	

評価規準	知識・技能	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付け、我が国の言語文化に対する理解を深めているか。
	思考・判断・表現	創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようになっているか。
	主体的に学習に取り組む態度	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、学習内容を積極的に吸収し、自分自身を成長させようとしているか。

定　期　考　査	１学期中間	１学期末	２学期中間	２学期末	学年末
実　施　予　定	○	○	○	○	○

評　価　方　法	学習への取組をⅠ【知識・技能】、Ⅱ【思考力・判断力・表現力等】、Ⅲ【主体的に学習に取り組む態度】の三観点で評価をする。評価の対象と観点は以下の通り。 ○　定期考査　…　Ⅰ・Ⅱ　の観点 ○　ノート内容　…　Ⅱ・Ⅲ　の観点 ○　授業成果物（レポート、感想文、提出物等）　…　Ⅱ・Ⅲ　の観点 ○　授業態度（真面目な態度、積極的な取組）　…　Ⅲ　の観点

国　語

科　目　名	単　位　数	学　　科	学　　年
論理国語	２単位	普通科（Ⅰ・Ⅱ型）	２年

教 科 書	論理国語（大修館書店）	副 教 材	カラー版　新国語便覧（第一学習社）

科目の目標	⑴　実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。 ⑵　論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 ⑶　言葉がもつ価値への認識を深めるとともに，生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ，我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め，言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	学　習　項　目		学 習 の ね ら い
１学期	評論Ⅰ	「対話の精神」	文章中の話題と主張を意識しながら読解する力を養う。
	評論Ⅱ	「ミロのヴィーナス」	
	評論Ⅲ	「家族化するペット」	
	評論Ⅳ	「自己をモデル化する知能」	
	論理的表現Ⅰ	「統計から分析したことを書く」	
２学期	評論Ⅴ	「方言コスプレ」現象	筆者の主張と論理の展開を適切に把握する力を養う。
	評論Ⅵ	「スキーマと記憶」	
	評論Ⅶ	「分かち合う社会」	
	評論Ⅷ	「心に「海」を持って」	
	論理的表現Ⅱ	「立場を明確にして書く」	
３学期	評論Ⅸ	「デジタル地図から見える世界」	筆者の論理を捉え、論理の背景を捉える力を養う。
	評論Ⅹ	「グローバリゼーションと文化」	
	論理的表現Ⅲ	「意見を交流する」	
備考（学習のポイント）	１　復習を必ず行うこと。板書を見ながら今日の授業を頭の中で再現すること。 ２　国語の学習において、要約と説明は鍵である。文章の要点を説明し、また本文を要約して、学習内容の定着を図ること。 ３　知らないことは考えられない。積極的に読書し、自分の知見を広げること。		

評価規準	知識・技能	実社会に出て必要となる国語の語彙や文法的な知識などを身に付けている。
	思考・判断・表現	論理的、批判的に考えることができる。また、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを論理的に展開し、明快に主張を述べることができる。
	主体的に学習に取り組む態度	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、学習内容を積極的に吸収し、自分自身を成長させようとしている。

定　期　考　査	１学期中間	１学期末	２学期中間	２学期末	学年末
実　施　予　定	○	○	○	○	○

評　価　方　法	学習への取組をⅠ【知識・技能】、Ⅱ【思考力・判断力・表現力等】、Ⅲ【主体的に学習に取り組む態度】の三観点で評価をする。評価の対象と観点は以下の通り。 ○　定期考査　…　Ⅰ・Ⅱ　の観点 ○　ノート内容　…　Ⅱ・Ⅲ　の観点 ○　授業成果物（レポート、感想文、提出物等）　…　Ⅱ・Ⅲ　の観点 ○　授業態度（真面目な態度、積極的な取組）　…　Ⅲ　の観点

公　民

科　目　名	単　位　数	学　　科	学　　年
公共	２単位	普通科	２年

教 科 書	高等学校 改訂版 公共 （第一学習社）	副 教 材	クローズアップ公共 新版 （第一学習社）

科目の目標	・現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、情報を適切に調べまとめる技能を身に付ける。 ・社会の諸課題の解決に向けて、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。

	学　習　項　目	学 習 の ね ら い
１学期	第１編　公共の扉 　１　公共的な空間をつくる私たち 　２　公共的な空間における人間としてのあり方生き方 　３　公共的な空間における基本的原理 第２編　自立した主体としてよりよい社会の形成に参画する私たち 　１　法的な主体となる私たち	・公共的な空間をつくる私たちについて、現代の諸課題を主体的に解決しようと考察する。
２学期	２　政治的な主体となる私たち 　３　経済的な主体となる私たち	・よりよい社会は、意見や利害の対立状況を調整して合意を形成することで築かれるものであることについて理解する。
３学期	３　経済的な主体となる私たち 第３編　持続可能な社会づくりの主体となる私たち	・国際協力のあり方、国際協調の重要性から、日本の役割について自分自身の問題として、主体的に解決しようとする。
備考（学習のポイント）	１　教科書をしっかり読もう。 ２　教科書の図版（グラフ・表・写真・絵）をよく見よう。 ３　新聞・ニュースなどで、世の中の動きや問題点を知ろう。 ４　常に「なぜ」という意識を持ち、自分で調べたり、考えたりする習慣を身に付けよう。	

評価規準	知識・技能	現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめている。
	思考・判断・表現	現実社会の諸課題の解決に向けて、公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断したり、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論したりしている。
	主体的に学習に取り組む態度	よりよい社会の実現を視野に、国家及び社会の担い手として、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。

定　期　考　査	１学期中間	１学期末	２学期中間	２学期末	学年末
実　施　予　定	○	○	○	○	○

評　価　方　法	定期考査、ファイル提出、授業態度等を総合的に評価する。 ○　授業態度（意欲的な態度、積極的な発表） ○　ファイル・課題提出（日常の課題及び長期休業中の課題） ○　班学習での取組（話合いの態度、積極的な発表）

地理歴史

科　目　名	単　位　数	学　　科	学　　年
世界史探究	２単位	普通科	２年

教 科 書	詳説世界史（山川出版社）	副 教 材	最新世界史図説タペストリー（帝国書院）

科目の目標	社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ，課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。

	学　習　項　目	学 習 の ね ら い
１学期	第１部　諸地域の歴史的特質の形成 第１章　文明の成立と古代文明の特質 第２章　中央ユーラシアと東アジア世界 第３章　南アジア世界と東南アジア世界の展開 第４章　西アジアと地中海周辺の国家形成	・資料から情報を読み取ったり、まとめたりする技能を身に付ける。 ・諸地域の歴史的特質を読み解く観点について考察し、問いを表現する。
２学期	第５章　イスラーム教の成立とヨーロッパ世界の形成 第２部　諸地域の交流・再編 第６章　イスラーム教の伝播と西アジアの動向 第７章　ヨーロッパ世界の変容と展開 第８章　東アジア世界の展開とモンゴル帝国 第９章　大交易・大交流の時代	・古代文明や諸地域の歴史的特質について、見通しを持って学習に取り組む。 ・諸地域の交流・再編を読み解く観点について考察し、問いを表現している。
３学期	第10章　アジア諸帝国の繁栄 第11章　近世ヨーロッパ世界の	・諸地域の交流・再編について、見通しを持って学習に取り組む。
備考（学習のポイント）	１　教科書をしっかり読み、ページ横の（注）の文章にも注意しよう。 ２　教科書に掲載されている図版や史料などにも目を通しておこう。 ３　語句や人名を単に覚えるのではなく、歴史の流れのなかで理解しよう。 ４　現代社会の諸課題と結びつけて考えよう。	

評価規準	知識・技能	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解しているとともに、諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。
	思考・判断・表現	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察し、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したり、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を身に付けている。
	主体的に学習に取り組む態度	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探求しようとしたり、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚を深めている。

定　期　考　査	１学期中間	１学期末	２学期中間	２学期末	学年末
実　施　予　定	○	○	○	○	○

評　価　方　法	定期考査、ノート提出、授業態度等を総合的に評価する。 ○授業態度（まじめな態度、発表内容） ○課題提出（長期休業中の課題など） ○定期考査（計画的な学習計画と成果）

地理歴史

科　目　名	単　位　数	学　　科	学　　年
地理探究	２単位	普通科	２年

教 科 書	新詳地理探究（帝国書院） 新詳高等地図（帝国書院）	副 教 材	新編地理資料（東京法令出版）

科目の目標	地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、国際社会に主体的に生きる資質・能力を養う。

	学　習　項　目	学 習 の ね ら い
１学期	自然環境 １　地形 ２　気候	・世界の大地形の形成や種々の地形の特質を考察する。 ・世界の気候区の成因・特徴を学ぶ。
２学期	３　日本の自然環境 ４　地球環境問題 資源と産業 １　農林水産業 ２　食料問題 ３　エネルギー・鉱産資源	・持続可能な社会へのための取組について考察する。 ・世界の農牧業の特質や水産業の現況を理解する。 ・食料分配の世界的な偏りの原因について追究する。
３学期	４　資源・エネルギー問題 ５　工業 ６　第３次産業	・地下資源の利用と分布や動向を考察する。 ・世界の工業の発達･立地や現状･課題を考察する。
備考（学習のポイント）	１　学習プリントはきちんと書き込み、積極的にメモ書きをしよう。 ２　家庭学習では、教科書・資料によく目を通して、学習の復習をしよう。 ３　地名などは地図帳を利用して、しっかりその位置を確認しよう。 ４　社会の動きに注目し、学習内容と世界の動向とを結びつけて考えよう。	

評価規準		
	知識・技能	世界の生活文化の多様性や、地理的課題を理解しているとともに、調査や資料から情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。
	思考・判断・表現	地理的な課題の解決に向けて考察したことを、効果的に説明できる。
	主体的に学習に取り組む態度	よりよい社会の実現を視野に、地理に関わる課題を主体的に追究、解決しようとしている。

定　期　考　査	１学期中間	１学期末	２学期中間	２学期末	学年末
実　施　予　定	○	○	○	○	○
評　価　方　法	定期考査、学習プリント提出、授業態度等を総合的に評価する。 ○学習プリント提出（授業中の取組や家庭での復習状況） ○授業態度（意欲的な態度、発表内容） ○課題提出（ワーク作業や長期休業中の課題など） ○定期考査（考査範囲の適切かつ計画的な学習成果）				

数　学

科　目　名	単　位　数	学　　科	学　　年
数学Ⅱ・数学B	４・２単位	普通科（ＩＢ型）	２年

教 科 書	新編数学Ⅱ（数研出版） 新編数学Ｂ（数研出版）	副 教 材	クリアー数学Ⅱ＋Ｂ＋Ｃ（数研出版）

科目の目標	各単元について理解させ、基本的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察し処理する能力を伸ばすとともに、それらを活用する態度を育てる。

	学　習　項　目	学 習 の ね ら い
１学期	数学Ⅱ　第１章　式と証明 式と計算　　等式・不等式の証明 第２章　複素数と方程式 複素数と２次方程式の解　　高次方程式 第３章　図形と方程式 点と直線　　円　　軌跡と領域 第４章　三角関数 三角関数　　加法定理	・二項定理について学ぶ。 ・等式、不等式の証明法を学ぶ。 ・複素数の四則演算を学ぶ。 ・高次方程式の解法を学ぶ。 ・直線や円の基本的な平面図形の性質や関係を学ぶ。 ・一般角を定義し、三角関数の様々な性質を学ぶ。
２学期	第５章　指数関数と対数関数 指数関数　　対数関数 数学Ｂ　第１章　数列 等差数列と等比数列　　いろいろな数列 漸化式と数学的帰納法 数学Ⅱ　第６章　微分法と積分法 微分係数と導関数	・対数の意味とその基本的な性質について学ぶ。 ・数列の一般項と和の公式、漸化式と数学的帰納法について学ぶ。 ・関数の増減に注目し、様々な関数のグラフについて学ぶ。
３学期	関数の値の変化　　積分法 数学Ｂ　第２章　統計的な推測 確率分布 統計的な推測	・面積を求める方法を学ぶ。 ・二項分布や正規分布、推定、検定の考え方について学ぶ。
備考（学習のポイント）	１　図形と方程式では、図形を丁寧にかくようにしましょう。 ２　様々な関数では、グラフを用いて、方程式・不等式、最大・最小問題を考えましょう。 ３　数列では、一般項と和を求める様々な考え方を身に付けていきましょう。 ４　微分法・積分法の考え方を理解し、その計算に習熟していきましょう。 ５　統計分野では、統計的な推測の考え方を理解し、その活用法を身に付けましょう。	

評価規準		
	知識・技能	基本的な考え方、原理、法則、用語、記号の意味の理解し、事象を数学的に解釈し、処理することができている。
	思考・判断・表現	式、図、表、グラフ等を用いて、様々な課題を数学的に捉え、数学的論拠に基づいて事象を的確に判断・表現し、考察している。
	主体的に学習に取り組む態度	数学のよさを認識し、問題解決において積極的に数学を活用している。

定　期　考　査	１学期中間	１学期末	２学期中間	２学期末	学年末
実　施　予　定	○○	○○	○○	○○	○○

評　価　方　法	定期考査、ノート提出、授業態度等を総合的に評価する。 ○　ノート提出（予習・復習及び整理状況の確認） ○　授業態度（まじめな態度、積極的な発表） ○　小テスト（単元毎の小テストなど） ○　課題提出（日常の課題及び長期休業中の課題）

数　学

科　目　名	単　位　数	学　　科	学　　年
数学Ⅱ・数学B	４・２単位	普通科（ＩA型）	２年

教 科 書	新編数学Ⅱ（数研出版） 新編数学B（数研出版）	副 教 材	クリアー数学Ⅱ＋B＋C（数研出版）

科目の目標	各単元について理解させ、基本的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察し処理する能力を伸ばすとともに、それらを活用する態度を育てる。

	学　習　項　目	学 習 の ね ら い
１学期	数学Ⅱ　第１章　式と証明 式と計算　　等式・不等式の証明 第２章　複素数と方程式 複素数と２次方程式の解　　高次方程式 第３章　図形と方程式 点と直線　　円　　軌跡と領域 第４章　三角関数 三角関数　　加法定理	・二項定理について学ぶ。 ・等式、不等式の証明法を学ぶ。 ・複素数の四則演算を学ぶ。 ・高次方程式の解法を学ぶ。 ・直線や円の基本的な平面図形の性質や関係を学ぶ。 ・一般角を定義し、三角関数の様々な性質を学ぶ。
２学期	第５章　指数関数と対数関数 指数関数　　対数関数 数学B　第１章　数列 等差数列と等比数列　　いろいろな数列 漸化式と数学的帰納法 数学Ⅱ　第６章　微分法と積分法 微分係数と導関数	・対数の意味とその基本的な性質について学ぶ。 ・数列の一般項と和の公式、漸化式と数学的帰納法について学ぶ。 ・関数の増減に注目し、様々な関数のグラフについて学ぶ。
３学期	関数の値の変化　　積分法 数学B　第２章　統計的な推測 確率分布 統計的な推測	・面積を求める方法を学ぶ。 ・二項分布や正規分布、推定、検定の考え方について学ぶ。
備考（学習のポイント）	１　図形と方程式では、図形を丁寧にかくようにしましょう。 ２　様々な関数では、グラフを用いて、方程式・不等式、最大・最小問題を考えましょう。 ３　数列では、一般項と和を求める様々な考え方を身に付けていきましょう。 ４　微分法・積分法の考え方を理解し、その計算に習熟していきましょう。 ５　統計分野では、統計的な推測の考え方を理解し、その活用法を身に付けましょう。	

評価規準		
	知識・技能	基本的な考え方、原理、法則、用語、記号の意味を理解し、事象を数学的に解釈し、処理することができている。
	思考・判断・表現	式、図、表、グラフ等を用いて、様々な課題を数学的に捉え、数学的論拠に基づいて事象を的確に判断・表現し、考察している。
	主体的に学習に取り組む態度	数学のよさを認識し、問題解決において積極的に数学を活用している。

定　期　考　査	１学期中間	１学期末	２学期中間	２学期末	学年末
実　施　予　定	○○	○○	○○	○○	○○

評　価　方　法	定期考査、ノート提出、授業態度等を総合的に評価する。 ○　ノート提出（予習・復習及び整理状況の確認） ○　授業態度（まじめな態度、積極的な発表） ○　小テスト（単元毎の小テストなど） ○　課題提出（日常の課題及び長期休業中の課題）

理　科

科　目　名	単　位　数	学　　科	学　　年
化学	２単位	普通科（ＩＡ型）	２年

教 科 書	化学　１理論編　２物質編 （東京書籍）	副 教 材	セミナー化学基礎・化学（第一学習社） スクエア最新図説化学(第一学習社)

科目の目標	化学的な事物・現象に対する興味・関心を高め、目的意識をもって観察、実験を行い、化学的に探究する能力と態度を育てるとともに、化学の基本的な概念や原理･法則の理解を深め、科学的な自然観を育成する。

	学　習　項　目	学 習 の ね ら い
１学期	０編　人間生活のなかの化学 １編　物質の状態 １章　物質の状態　　２章　気体の性質 ３章　溶液の性質　　４章　個体の構造 第２編　化学反応とエネルギー １章　化学反応と熱・光　　２章　電池と電気分解	・我々の生活のなかで化学がどうかかわっているか理解を深める。 ・三態における物質の性質を理解し、確認する。 ・化学反応とエネルギーの関係を理解する。
２学期	３編　化学反応の速さと平衡 １章　化学反応の速さ　２章　化学平衡 ３章　水溶液中の化学平衡	・化学反応の種類やその仕組みを理解する。 ・化学平衡の移動における物質の変化や沈殿生成を理解する。
３学期	４編　無機物質 １章　周期表と元素 ２章　非金属元素の単体と化合物 ３章　典型元素の単体とその化合物	・非金属元素及び金属元素の単体とその化合物の性質を理解し、実験で確認する。
備考（学習のポイント）	化学は、化学基礎の学習からの発展になります。物質量及び化学反応(酸・塩基と酸化・還元)についてよく復習をしておきましょう。物質はそれぞれの状態において、どのような現象を示すのか理解します。身近な物質について考えていきましょう。また、「平衡」の概念は化学全般に通じるものなので、しっかりと理解に努めましょう。 無機物質の分野では、様々な実験を通して、見て、触れて、感じて、非金属元素の性質を理解することができます。これらをしっかり覚えましょう。	

評価規準	知識・技能	・用語や法則、現象等を正しく理解し、活用できているか。
	思考・判断・表現	・学習したことを使って正しく判断し、新しいことを考え、自分の言葉で表現することができるか。
	主体的に学習に取り組む態度	・化学に興味を持ち、学んだことを日常生活の物質や現象に結び付け考えようとしているか。 ・実験の内容を理解し、主体的に参加しているか。

定　期　考　査	１学期中間	１学期末	２学期中間	２学期末	学年末
実　施　予　定	○	○	○	○	○

評　価　方　法	定期考査、問題集ノートおよび訂正ノート、実験ノートの提出、授業態度、実験態度等を総合的に評価する。 ○問題集ノート提出（正しく、すべて解けているか） ○授業態度（まじめな態度、積極的な発表ができているか） ○実験（意欲的な取組、実験結果の考察が正しくできているか）

理　科

科　目　名	単　位　数	学　　科	学　　年
生物	２単位	普通科（ＩＡ型）	２年

教 科 書	高等学校　生物（第一学習社）	副 教 材	リードα生物基礎・生物

科目の目標	生物とそれを取り巻く環境に対する関心を高め、自分のからだや自分の周りの環境について理解し、問題を意欲的に探究する活動を通して、規則性を発見したり課題を解決したりする方法を習得させる。

	学　習　項　目	学 習 の ね ら い
２学期	第１編　生物の進化と系統 　第１章　生物の進化 　第２章　生物の系統と進化 第２編　生命現象と物質 　第３章　細胞と分子	・進化のしくみを理解する。 ・生物の系統関係を理解する。 ・細胞の構造を知る。 ・タンパク質の役割と代謝について理解する。
３学期	第４章　代謝 第３編　遺伝情報の発現と発生 　第５章　遺伝情報とその発現	・生物体内における代謝を知る。 ・遺伝情報の発現と応用の仕方を知る。
備考（学習のポイント）	１　生物の特徴を知り、どのような進化が起こったのか理解しよう。 ２　遺伝子の働きや体内環境を維持するしくみを学び、自分のからだの成り立ちや現象を理解しよう。 ３　言葉や現象についてよく理解し、文章で正確に表現できるようにしよう。 ４　表や図を見て、表現や理解ができるようにしよう。	

評価規準	知識・技能	・生物の内容を理解し、正しい知識で生命現象を説明することができるか。 ・顕微鏡観察や実験を、正しい手順で素早く行うことができるか。
	思考・判断・表現	・科学的知識のもとに、現象理解を行い表現することができるか。
	主体的に学習に取り組む態度	・主体的に生物に興味を持ち、内容の理解に努めているか。

定　期　考　査	１学期中間	１学期末	２学期中間	２学期末	学年末
実　施　予　定				○	○

評　価　方　法	定期考査、ノート提出、授業態度、実験態度等を総合的に評価する。 ○　ノート提出（予習・復習及び整理状況の確認） ○　授業態度（まじめな態度、積極的な発表、ペアワーク・グループワークの態度） ○　小テスト（確認テストなど） ○　課題提出（日常の課題及び長期休業中の課題）

理　科

科　目　名	単　位　数	学　　科	学　　年
地学基礎	２単位	普通科（ＩＢ型）	２年

教 科 書	高等学校　地学基礎改訂版　（啓林館）	副 教 材	センサー　地学基礎（啓林館）

科目の目標	身近な自然現象について学習させる。それらの事柄に普段から興味・関心を示す態度を持たせ、実験や作業学習を通して科学的に探求し、調べたことを表現する能力を身に付けさせると共に生活の中で何が重要かを判断し、自ら考え行動する態度を持たせる。

	学　習　項　目	学 習 の ね ら い
１学期	第１部　固体地球とその活動 第１章　地球 第２章　活動する地球	・地球の姿、構造について理解する。 ・プレートの運動による地震や火山活動について理解する。
２学期	第２部　大気と海洋 第１章　大気の構造　　第２章　太陽放射と大気・海水の運動 第３章　日本の天気 第３部　移り変わる地球 第１章　地球の誕生	・気象現象について理解する。 ・宇宙の誕生と進化について理解する。
３学期	第３部　移り変わる地球 第２章　地球と生命の進化　　第３章　地球史の読み方 第４部　自然との共生 第１章　地球環境と人類　　第２章　地震災害・火山災害 第３章　気象災害　　第４章　災害と社会 第５章　人間生活と地球環境の変化	・地球誕生から現在までの生命の進化の流れについて理解する。 ・災害に対する取り組みを理解する。
備考（学習のポイント）	台風・地震・火山など、様々な災害すべて地学の中で勉強するものばかりです。将来、自分が災害にあっても適切な行動がとれるように、普段から地球上で起こる出来事に深く関心を持つようにしましょう。また、地球環境などへの配慮など、将来にわたって大切なことばかりです。授業に集中して、しっかり学習に取り組みましょう。	

評価規準	知識・技能	・地学の用語と内容を覚え、各種現象に応用できるか。 ・これまで学習した知識を生かして地学の現象を理解できるか。
	思考・判断・表現	・正しい科学的考え方のもとに現象理解ができているか。
	主体的に学習に取り組む態度	・地学に興味を持ち、地学の内容の理解に努めているか。

定　期　考　査	１学期中間	１学期末	２学期中間	２学期末	学年末
実　施　予　定	○	○	○	○	○

評　価　方　法	定期考査、ノート提出、授業態度等を総合的に評価する。 ○　ノート提出（整理状況及び工夫の確認） ○　授業態度（教科に対して真摯で積極的か。） ○　課題提出（週末課題及び長期休業中の課題）

理　科

科　目　名	単　位　数	学　　科	学　　年
物理	２単位	普通科（ＩＡ型）	２年

教 科 書	総合物理１・２（数研出版）	副 教 材	実践アクセス　総合物理

科目の目標	物理学的に探究する能力と態度を身に付け、物理学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、体系化された知識に基づいて自然の事物・現象を分析的、総合的に考察する能力を育成する。

	学　習　項　目	学 習 の ね ら い
２学期	第１編　力と運動 第１章　運動の表し方　第２章　運動の法則 第３章　仕事と力学的エネルギー 第４章　運動量の保存 第５章　円運動と万有引力	・平面運動を理解する。 ・剛体の扱いを理解する。 ・物体が衝突する際にどのような法則が成り立つかを理解する。 ・円運動の仕組みと万有引力について理解する。
３学期	第２編　熱と気体 第１章　熱と物質　　第２章　気体のエネルギーと状態変化 第３編　波 第１章　波の性質　　第２章　音　　第３章　光	・気体の分子運動論を理解する。 ・波の発生原理や基本事項について理解する。 ・ホイヘンスの原理を理解する。 ・ドップラー効果を理解する。
備考（学習のポイント）	・物理では考えることが最も大切です。何事も突き詰めて考える態度で臨みましょう。 ・実験では結果はどうなるのか、自分でしっかり考えながら積極的に取り組みましょう。 ・公式や法則は暗記するのではなく、応用する力を持つことが必要です。教科書の問題や与えられた問題集は自分から進んで取り組みましょう。 ・物理では演習が大切です。授業以外でも演習に取り組み、知識を定着させましょう。	

評価規準	知識・技能	・物理の計算を理解し、各場面で応用できるか。 ・物理の基礎知識から物理の現象を理解できるか。
	思考・判断・表現	・正しい科学的考え方のもとに現象理解ができているか。
	主体的に学習に取り組む態度	・主体的に物理に興味を持ち、物理の内容の理解に努めているか。

定　期　考　査	１学期中間	１学期末	２学期中間	２学期末	学年末
実　施　予　定				○	○
評　価　方　法	定期考査、ノート提出、授業態度等を総合的に評価する。 ○　ノート提出（整理状況及び工夫の確認） ○　授業態度（教科に対して真摯で積極的か。） ○　課題提出（週末課題及び長期休業中の課題）				

理　科

科　目　名	単　位　数	学　　科	学　　年
物理基礎	２単位	普通科（ＩＡ型）	２年

教 科 書	改訂版　物理基礎（数研出版）	副 教 材	リードLightノート　物理基礎

科目の目標	物理学的に探究する基礎的な知識と能力を身に付け、物理学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、習得した知識を活用して自然の事物・現象を分析的、総合的に考察する能力を育成する。

	学　習　項　目	学 習 の ね ら い
１学期	第１編　運動とエネルギー 第１章　運動の表し方　第２章　運動の法則 第３章　仕事と力学的エネルギー 第２編　熱と気体 第１章　熱とエネルギー 第３編　波 第１章　波の性質	・速さと速度の違いを理解する。 ・力と運動の関係を理解する。 ・力学的エネルギーがどのようなものか理解する。 ・熱の法則について理解する。 ・波の特性を理解する。
２学期	第３編　波 第２章　音 第４編　電気 第１章　物質と電気　第２章　磁場と交流 第５編　物理学と社会 第１章エネルギーの利用	・音の性質と共鳴について理解する。 ・電気や磁場の性質について理解する。 ・物理学がどう社会に使われているかを理解する。
備考（学習のポイント）	・物理では考えることが最も大切です。何事も突き詰めて考える態度で臨みましょう。 ・実験では結果はどうなるのか、自分でしっかり考えながら積極的に取り組みましょう。 ・公式や法則は暗記するのではなく、応用する力を持つことが必要です。教科書の問題や与えられた問題集は自分から進んで取り組みましょう。 ・物理では演習が大切です。授業以外でも演習に取り組み、知識を定着させましょう。	

評価規準	知識・技能	・物理の計算を理解し、各場面で応用できるか。 ・物理の基礎知識から物理の現象を理解できるか。
	思考・判断・表現	・正しい科学的考え方のもとに現象理解ができているか。
	主体的に学習に取り組む態度	・主体的に物理に興味を持ち、物理の基本的な内容の理解に努めているか。

定　期　考　査	１学期中間	１学期末	２学期中間	２学期末	学年末
実　施　予　定	○	○	○		

評　価　方　法	定期考査、ノート提出、授業態度等を総合的に評価する。 ○　ノート提出（整理状況及び工夫の確認） ○　授業態度（教科に対して真摯で積極的か。） ○　課題提出（週末課題及び長期休業中の課題）

理　科

科　目　名	単　位　数	学　　科	学　　年
理科探究	１単位	普通科（ＩＢ型）	２年

教 科 書	野村高校　理科探究（野村高校理科）	副 教 材	ビーライン生物基礎（第一学習社）

科目の目標	生物とそれを取り巻く環境に対する関心を高め、自分のからだや自分の周りの環境について理解し、問題を意欲的に探究する活動を通して、規則性を発見したり課題を解決したりする方法を習得させる。

	学　習　項　目	学 習 の ね ら い
１学期	生物の特徴（生物の多様性と共通性、生物とエネルギー） 遺伝子とその働き （遺伝情報とＤＮＡ、遺伝情報とタンパク質の合成）	・生物の特徴や遺伝子の働きを理解する。 ・遺伝子の発現について学ぶ。
２学期	ヒトのからだの調節（体内環境、体内環境の維持のしくみ、免疫）	・体内環境と恒常性について学ぶ。 ・ホルモン調節や免疫システムについて学ぶ。
３学期	生物の多様性と生態系 （植生と遷移、バイオーム、生態系のバランスと保全） 演習	・気候とバイオームについて学ぶ。 ・入試問題演習を通して受験対策を行う。
備考（学習のポイント）	１　生物の特徴を知り、生物のからだや取り巻く環境について理解しよう。 ２　言葉や現象についてよく理解し、文章で正確に表現できるようにしよう。 ３　表や図を見て、表現や理解ができるようにしよう。	

評価規準	知識・技能	・生物の内容を理解し、正しい知識で生命現象を説明することができるか。 ・顕微鏡観察や実験を、正しい手順で素早く行うことができるか。
	思考・判断・表現	・科学的知識のもとに、現象理解を行い表現することができるか。
	主体的に学習に取り組む態度	・主体的に生物に興味を持ち、内容の理解に努めているか。

定　期　考　査	１学期中間	１学期末	２学期中間	２学期末	学年末
実　施　予　定		○		○	○

評　価　方　法	定期考査、ノート提出、授業態度、実験態度等を総合的に評価する。 ○　ノート提出（予習・復習及び整理状況の確認） ○　授業態度（まじめな態度、積極的な発表、ペアワーク・グループワークの態度） ○　小テスト（確認テストなど） ○　課題提出（日常の課題及び長期休業中の課題）

保健体育

科　目　名	単　位　数	学　　科	学　　年
体　育	２単位	普通科	２年

教 科 書	新高等保健体育（大修館）	副 教 材	最新スポーツルール 2025（大修館）

科目の目標	体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するとともに、自己の状況に応じて体力の向上を図るための資質・能力を育成することを目指す。

	学　習　項　目	学 習 の ね ら い
１学期	体つくり運動、集団行動、新体力テスト、陸上競技 球技Ⅰ［個人的技能、集団的技能、ゲーム及び審判法］ 【男子】【女子】（ソフトボール・バレーボール・ソフトテニス） 体育理論（スポーツにおける技術と戦術・戦略）（スポーツにおける技能と体力）	・自己の体力や生活に応じて取り組み、実生活に役立てる。 ・ペースの変化に対応するなどして走る。
２学期	体つくり運動 球技Ⅱ［個人的技能、集団的技能、ゲーム及び審判法］ 【男子】【女子】（サッカー・バスケットボール・バドミントン） 体育理論（技術の上達過程と練習の考え方）（効果的な動きのメカニズム）	・作戦や状況に応じた技能や仲間と連携してゲームが展開できるようにする。
３学期	体つくり運動 球技Ⅲ［個人的技能、集団的技能、ゲーム及び審判法］ 【男子】【女子】（バスケットボール・バレーボール・卓球） 体育理論（体力トレーニング）（運動やスポーツでの危険予知と安全確保）	・運動やスポーツの効果的な学習の仕方、安全確保について理解できるようにする。
備考（学習のポイント）	１　自らの特性を生かしたり、伸ばしたりする上で、能力等に応じて運動を選び、その運動を得意にしていくなどして生涯スポーツの基礎づくりをしよう。 ２　集団としての行動を秩序正しく、能率的に行えるようにしよう。 ３　互いに協力して自己責任を果たそう。	

評価規準	知識・技能	運動の合理的、計画的な実践に関する具体的な事項や生涯にわたって運動を豊かに継続するための倫理について理解しているとともに、目的に応じた技能を身に付けている。
	思考・判断・表現	自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて、課題に応じた運動の取り組み方や目的に応じた運動の組み合わせ方を工夫しているとともに、それらを他者に伝えている。
	主体的に学習に取り組む態度	運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるよう、運動の合理的、計画的な実践に自主的に取り組もうとしている。

定　期　考　査	１学期中間	１学期末	２学期中間	２学期末	学年末
実　施　予　定					

評　価　方　法	授業態度、運動の技能、体育理論の理解度等を総合的に評価する。 ○　出席状況、授業態度・意欲（授業の参加状況、意欲的でまじめな態度） ○　運動の技能（各種運動の技能の習熟度、審判法の理解度） ○　体育理論の理解度（理解度の確認テスト）

保健体育

科　目　名	単　位　数	学　　科	学　　年
保　健	1単位	普通科	2年

教 科 書	新高等保健体育（大修館）	副 教 材	新高等保健体育ノート（大修館）

科目の目標	保健の見方・考え方を働かせ、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、生涯を通じて人々が自らの健康や環境を適切に管理し、改善していくための資質・能力を育成する。

	学　習　項　目	学 習 の ね ら い
1学期	3単元　生涯を通じる健康 思春期と健康　　性意識の変化と性行動の選択 結婚生活と健康　　妊娠・出産と健康 家族計画　　加齢と健康 高齢社会に対応した取り組み	・生涯の各段階の健康課題に応じた自己の健康管理や環境づくりについて理解を深める。
2学期	3単元　生涯を通じる健康 働くことと健康　　労働災害の防止　　働く人の健康づくり 4単元　健康を支える環境づくり 大気汚染と健康　　水質汚濁・土壌汚染と健康 健康被害を防ぐための環境対策　　環境衛生に関わる活動	・労働災害防止のための健康管理や安全管理について理解を深める。 ・環境汚染の防止及び改善策の必要性を理解する。
3学期	4単元　健康を支える環境づくり 食品の安全性と健康　　食品の安全性を確保する取り組み 保健制度とその活用　　医療制度とその活用 医薬品の制度とその活用　　様々な保健活動や対策 誰もが健康に過ごせる社会に向けた環境づくり	・食品の安全性や衛生管理について理解する。 ・保健・医療制度や機関の適切な活用、医薬品の正しい使用方法を理解する。
備考（学習のポイント）	1　心身の健康課題や健康に対する考え方の変化に対応するため、新聞・ニュース等に関心を持ち、よく見よう。 2　教科書・ノートは忘れず持参し、板書等はノートに必ず取ろう。 3　提出物は期限を守り、確実に提出しよう。	

評価規準	知識・技能	個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めているとともに、技能を身に付けている。
	思考・判断・表現	健康について自他の社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し、判断しているとともに、目的に応じて他者に伝えている。
	主体的に学習に取り組む態度	生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力のある生活を営むための学習に主体的に取り組もうとしている。

定　期　考　査	1学期中間	1学期末	2学期中間	2学期末	学年末
実　施　予　定		○		○	○

評　価　方　法	定期考査、ノート提出、授業態度等を総合的に評価する。 ○ノート提出（予習・復習及び整理状況の確認） ○授業態度（まじめな態度、積極的な発表） ○課題・レポート提出（日常の課題及び長期休業中の課題）

外国語（英語）

科　目　名	単　位　数	学　　科	学　　年
英語コミュニケーションⅡ	４単位	普通科（Ｉ型）	２年

教 科 書	Grove　English Communication Ⅱ （文英堂）	副 教 材	ラーナーズ高校英語 Word Navi 4500

科目の目標	外国語を通じて、言語や文化に対する理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図る。また、情報や考えなどを的確に理解したり、適切に伝えたりするコミュニケーション能力を養う。

	学　習　項　目	学 習 の ね ら い
1 学 期	LESSON 1　Breakfast Around the World LESSON 2　What Makes You a Good Street Dancer? LESSON 3　Volunteering and Music Bring Us Together LESSON 4　Zoos ― Roles and Challenges	・文型、動名詞 ・完了形、進行形、完了進行形 ・助動詞（完了形、to 不定詞） ・受け身
2 学 期	LESSON 5　Paper Can Change the Future LESSON 6　Our Advanced Network Society LESSON 7　Connecting with People LESSON 8　Practice Makes Perfect:　A Japanese Baker's World Victory	・分詞の形容詞的用法 ・C =to 不定詞･分詞･原形不定詞 ・比較、関係代名詞 ・関係副詞、分詞構文
3 学 期	LESSON 9　The World Without Honeybees LESSON 10 The Forth Bridge:　An Iconic Landmark in Scotland	・仮定法過去・過去完了 ・倒置、省略、同格の that，付帯状況の with の表現
備　考（学習のポイント）	１　教科書の内容が理解できる。 ２　各課のターゲット文法や語彙を使って、身の回りのことを英語で表現できる。 ３　辞書やノートを繰り返し活用して、英語で考えることができる。	

評価規準		
	知識・技能	英語を聞いたり読んだりして、情報や考えなどを的確に理解している。
	思考・判断・表現	簡単な英語で話したり書いたりして、情報や考えなどを相手に伝えている。背景にある文化などを理解している。
	主体的に学習に取り組む態度	コミュニケーションに関心を持ち､積極的にコミュニケーションを図ろうとしている。

定　期　考　査	１学期中間	１学期末	２学期中間	２学期末	学年末
実　施　予　定	○	○	○	○	○

評　価　方　法	定期考査、ノート提出、授業態度等を総合的に評価する。 ○　ノート提出（予習・復習及び整理状況の確認） ○　授業態度（まじめな態度、積極的な発表） ○　小テスト、課題提出（日常の課題及び長期休業中の課題） ○　パフォーマンステスト（英語で伝えようとする姿勢）

外国語（英語）

科　目　名	単　位　数	学　　科	学　　年
論理・表現Ⅱ	３単位	普通科（ＩＢ型）	２年

教 科 書	APPLAUSE　ENGLISH LOGIC AND EXPRESSIONⅡ（開隆堂）	副 教 材	Scramble 英文法・語法 Basic

科目の目標	英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、事実や意見などを多様な観点から考察し、表現の仕方を工夫しながら伝える能力を伸ばす。

	学　習　項　目	学 習 の ね ら い
１学期	Lesson 1　Reflections Before Starting a New Life Lesson 2　Let Your Dreams Come True Lesson 3　Dos and Don'ts in Social Media Lesson 4　Future Prospects Lesson 5　Let's Keep in Good Shape	・興味・関心について ・将来の計画や夢について ・SNS の使い方について ・将来予測される事柄 ・健康について
２学期	Lesson 6　Energy Consumptions in the World Lesson 7　Voter Turnout in Comparison Lesson 8　What Has Impressed Me the Most Lesson 9　Sports for Everybody Lesson 10　The Latest News from around the World	・世界のエネルギー消費の実態 ・国ごとの投票率の違い ・感銘を受けた人物や本など ・スポーツについて ・報道番組で取り上げたいこと
３学期	Lesson 11　Let's Find Out What We Can Do for Others Lesson 12　Learn about Other Countries and People Lesson 13　Global Issues Lesson 14　Food Culture around the World	・ボランティア活動について ・将来住みたい場所について ・環境問題や社会問題について ・さまざまな国の食文化について
備考（学習のポイント）	１　各レッスンの学習項目について自分の意見を書き、発表する。 ２　ペアワークやグループワークを通して内容理解を深める。 ３　発表などを通して、英語で表現することを楽しむ。	

評価規準	知識・技能	英語を聞いたり読んだりして、情報や考えなどを的確に理解している。
	思考・判断・表現	簡単な英語で話したり書いたりして、情報や考えなどを相手に伝えている。背景にある文化などを理解している。
	主体的に学習に取り組む態度	コミュニケーションに関心を持ち、積極的にコミュニケーションを図ろうとしている。

定　期　考　査	１学期中間	１学期末	２学期中間	２学期末	学年末
実　施　予　定	○	○	○	○	○

評　価　方　法	定期考査、ノート提出、授業態度等を総合的に評価する。 ○　ノート提出（予習・復習及び整理状況の確認） ○　授業態度（まじめな態度、積極的な発表） ○　小テスト（単語等）

外国語（英語）

科　目　名	単　位　数	学　　科	学　　年
論理・表現Ⅱ	２単位	普通科（ＩＡ型）	２年

教 科 書	APPLAUSE　ENGLISH LOGIC AND EXPRESSIONⅡ（開隆堂）	副 教 材	Scramble 英文法・語法 Basic

科目の目標	英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、事実や意見などを多様な観点から考察し、表現の仕方を工夫しながら伝える能力を伸ばす。

	学　習　項　目	学 習 の ね ら い
１学期	Lesson 1　Reflections Before Starting a New Life Lesson 2　Let Your Dreams Come True Lesson 3　Dos and Don'ts in Social Media Lesson 4　Future Prospects Lesson 5　Let's Keep in Good Shape	・興味・関心について ・将来の計画や夢について ・SNS の使い方について ・将来予測される事柄 ・健康について
２学期	Lesson 6　Energy Consumptions in the World Lesson 7　Voter Turnout in Comparison Lesson 8　What Has Impressed Me the Most Lesson 9　Sports for Everybody Lesson 10　The Latest News from around the World	・世界のエネルギー消費の実態 ・国ごとの投票率の違い ・感銘を受けた人物や本など ・スポーツについて ・報道番組で取り上げたいこと
３学期	Lesson 11　Let's Find Out What We Can Do for Others Lesson 12　Learn about Other Countries and People Lesson 13　Global Issues Lesson 14　Food Culture around the World	・ボランティア活動について ・将来住みたい場所について ・環境問題や社会問題について ・さまざまな国の食文化について
備考（学習のポイント）	１　各レッスンの学習項目について自分の意見を書き、発表する。 ２　ペアワークやグループワークを通して内容理解を深める。 ３　発表などを通して、英語で表現することを楽しむ。	

評価規準	知識・技能	英語を聞いたり読んだりして、情報や考えなどを的確に理解している。
	思考・判断・表現	簡単な英語で話したり書いたりして、情報や考えなどを相手に伝えている。背景にある文化などを理解している。
	主体的に学習に取り組む態度	コミュニケーションに関心を持ち、積極的にコミュニケーションを図ろうとしている。

定　期　考　査	１学期中間	１学期末	２学期中間	２学期末	学年末
実　施　予　定	○	○	○	○	○

評　価　方　法	定期考査、ノート提出、授業態度等を総合的に評価する。 ○　ノート提出（予習・復習及び整理状況の確認） ○　授業態度（まじめな態度、積極的な発表） ○　小テスト（単語等）

情　報

科　目　名	単　位　数	学　　科	学　　年
情報Ⅰ	２単位	普通科	２年

教 科 書	改訂版　高等学校　情報Ⅰ （ 数研出版 ）	副 教 材	改訂版　高等学校　情報Ⅰ サポートノート　　（ 数研出版 ）

科目の目標	これからの、社会全体の情報通信技術を使った高機能化と効率化という大改革に適応すべく、仕事や生活でプログラミングを活かせる知識と能力を培う。

	学　習　項　目	学 習 の ね ら い
１学期	第１編　情報社会の問題解決 第１章　情報とメディア 第２章　情報社会における法とセキュリティ 第３章　情報技術が社会に及ぼす影響 第２編　コミュニケーションと情報デザイン 第１章　情報のデジタル表現 第２章　コミュニケーション手段の発展と特徴 第３章　情報デザイン	・問題解決の目的や状況に応じて、情報や情報技術を適切かつ効果的に活用して問題を発見・解決する方法を考える。 ・情報のデジタル化の基礎的な知識として、アナログとデジタルのちがいとデジタル情報の特徴を理解する。 ・通信の歴史を概観し、コミュニケーション手段の発展について理解する。
２学期	第３章　情報デザイン 第３編　コンピュータとプログラミング 第１章　コンピュータのしくみ 第２章　プログラミング 第３章　モデル化とシミュレーション 第４編　情報通信ネットワークとデータの活用 第１章　ネットワークのしくみ 第２章　データベース	・プログラミング言語の実行のしくみやプログラミングの基本を理解するとともに、プログラミングによってコンピュータを活用する方法を身に付ける。 ・情報通信ネットワークの基本的な方式やプロトコルの役割について理解する。
３学期	第３章　データの分析 巻末実習	・データベースの概念及びデータベース管理システムの機能やデータの損失を防ぐしくみについて理解する。
備考（学習のポイント）	１　何気なく使っている言葉である「情報」とは何かを理解しよう。 ２　様々なメディアの特徴を知り、情報の適切な表現形式を理解しよう。 ３　情報や情報技術を活用して、問題を発見・解決する方法を身に付けよう。	

評価規準		
	知識・技能	・情報と情報技術を問題の発見・解決に活用するための知識について理解し、技能を身に付けているとともに、情報化の進展する社会の特質及びそのような社会と人間との関わりについて理解している。
	思考・判断・表現	・事象を情報とその結び付きの視点から捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に用いている。
	主体的に学習に取り組む態度	・情報社会との関わりについて考えながら、問題の発見・解決に向けて主体的に情報と情報技術を活用し、自ら評価し改善しようとしている。

定　期　考　査	１学期中間	１学期末	２学期中間	２学期末	学年末
実　施　予　定		○		○	○

評　価　方　法	○　定期考査、授業中における実技テスト、実習課題　等を総合的に評価する。 ○　授業態度（真面目さ、積極性、協調性　等） ○　実習（ソフト使用法の理解　個性的で目的の意図を理解した作品等）